

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分		実績	整理番号	14	課題区分	C	令和7年1月27日	
横断的な課題		林業・木材産業の振興と森林資源を活かした二酸化酸素吸収の確保						
地域重点政策		林業・木材産業の振興と森林資源を活かした二酸化酸素吸収の確保						木曽地域振興局
実施機関		長野県木曽青峰高等学校			担当課	所属	木曽青峰高等学校	
事業名		教育現場における「スマート林業」の先進的取組研修事業				電話	0264-22-2119	
						E-mail	seiho-hs@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	木曽谷・伊那谷フォレストバレー構想を意識し、高校現場における「スマート林業」の教育実践について先進的に取り組んでいる学校への研修、また該当校から講師を呼び研修を積むことで、自校のカリキュラム・シラバスに反映させ、地元の林業・木材産業の人材育成につなげていく。						
	現状と課題	人口減少の最も顕著な木曽地域において、主要産業である林業・木材産業も、人材不足、後継者対策に大変苦慮している。そのような中、ICTやロボットなどの先端技術を現場レベルで活用して、森林管理や林業の省力化、安全面の向上、経営の効率化などを図る「スマート林業」が注目を集めており、産業人材の不足という課題に効果を発揮することが期待されているところである。 木曽青峰高校の専門科が全国募集を行うにあたって、現在注目されている「スマート林業」をカリキュラムやシラバスに入れていくことは、入学者確保の視点から見ても有効であると考えている。 しかしながら、現在本校の森林環境科の職員の中に「スマート林業」の専門家は在籍していない現状がある。また、「スマート林業」の概念自体が新しくその専門家が高校現場に新規採用で赴任してくる可能性は低い。 そこで、まずは自校の教職員が「スマート林業」について研修を深め、校内の関係職員の一層の意識改革を進めていくことが必要である。						
	内容 (変更後の内容)	林野庁では、森林管理の基礎となる資源情報の高度化、データや最新技術を活用した「スマート林業」を推進している。令和4年度、令和5年度に将来の林業を担う林業大学校生や林業高校生が「スマート林業」を学ぶために、その実習のモデルとなる「スマート林業教育プログラム」を林業高校と地域が連携して作成・実施していた。 まずは、本校教員のスマート林業に対する心の壁を下げる必要があるため、9月に、令和4年度のモデル校の神奈川県立吉田島高等学校から講師を呼び、スマート林業について校内研修を行った。受講した教員からは、思ったより取組しやすいとの感想が聞かれたところである。 そして、令和6年11月21日～22日(1泊2日)には、本校の森林環境科の教職員2名が神奈川県立吉田島高等学校にて視察研修を行い、木曽青峰高校における「スマート林業」の学びのシラバス研究についてアドバイスを受けた。 〈その後の予定〉 研修会を実施後、森林環境科のカリキュラム編成に取り組む計画である。						
	事業期間	令和6年9月 ～ 令和6年12月						
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考	
	講師交通費		講師1名が木曽青峰高校に 来校いただき研修を実施		27,800		小田急電鉄 小田原-開成 往復400円、 小田原-木曽福島 往復25,700円 日当 1,700円	
	木曽青峰高校職員 交通費・宿泊費(2名分)		視察研修		41,640		神奈川県足柄上郡開成町 職員旅費、宿泊費2名分	
合 計				69,440				
指標及び達成状況	成果指標			目標値		成果		達成状況
	研修会参加者数			10人		11人		◎ 達成
	教員の理解の向上度			70%以上		100%		○ 一部達成
								○ 未達成
事業実績・成果	・事業を通し「スマート林業」を職員が体験し、また視察研修に行くことで、視察校の実際の授業から生徒の様子等を伺うことができた。その後の森林環境科の授業では地域振興局林務課からiPadを借り、「mapry林業」を体験するなど、生徒たちの興味関心を高めることができた。 ・また、研修会や視察を行ったことにより、教員の「スマート林業」に対する不安の払しょくに繋がり、教員の理解や意識の向上が見られた。							
今後の方向性	・先端技術の現場レベルを教員が体験し、生徒へ還元できるようにさらに研修等の機会を増やし、カリキュラム編成の研究を継続していく。 ・今後、林業大学校、上松技術専門校の見学、生徒、学生、訓練生との意見交換を実施するなど、木曽地域の林業関係3校連携も推進していく。							